

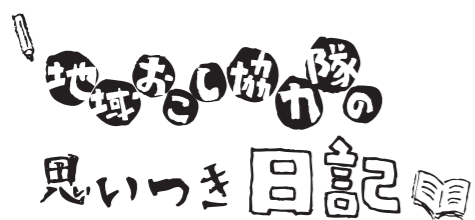


### 仕事と芸術、多彩な人生

木村 トキエ さん

きむら ときえ さん/昭和18年、美幌町生まれ/  
81歳/大通在住

来月は



になります。

令和6年4月1日に義務化されました！

## 相続登記 忘れていませんか？

Point ① 相続したことを 知った日から3年以内に登記！

Point ② 義務化前の相続も対象！

登記手続きのお済みでない方は、早めの登記をご検討ください。

法務局からの  
お知らせです。



# 温故知新

# 553

木村トキエさんは、美幌町日並の農家に5人兄妹の長女として生まれました。中学卒業後、理容専門学校に進み、実家の仕事を手伝いながら資格取得を目指し、紋別市の理容室でインターンを経験。19歳で理容師の国家資格を取得しました。当初は都会で働きたいという思いから、札幌での就職を考えていましたが、インターン先の店長から系列店である木村理容所で働くよう勧められ、実家に近いこともあり、津別での就職を決意しました。ところが「木村理容所を初めて訪れた時、まちなかではなく本岐にあって驚いた」と当時のことを笑いながら話してくれました。

津別での生活が始まると、木村理容所で働いていたご主人との結婚話が進みました「半ば無理やり結婚させられたような感じ」と冗談交じりに話しますが、ご主人がとても良い人だったことや両親を安心させたいという思いから、結婚を決意したそうです。昭和36年に本町店を、44年には現在の大通店を構えました。18年間にわたり、まちなかに2店舗を運営する忙しい日々を送った木村さん。「1日中立ちっぱなしのことも多く、大変だった」と当時の苦勞を振り返ります。そんな中、お義母さんから「仕事だけでなく趣味を持つことも大

事」と助言を受け、常連であり津別町美術協会会員のお客さんから油絵を勧められて始めることにしました。昭和57年に美術協会に入会し、絵を描く楽しさにのめり込んでいきます。「何度も絵具を重ねることでもやり直しができたり、そこから新しい表現が生まれるのが面白い」と語る木村さん。日々の努力が実り、平成18年と25年にはオホーツク美術協会文化教育賞を受賞しました。現在も月に2回の集まりで油絵を楽しんでいます。「油絵に興味がある方はぜひキムラ理容で散髪がてら相談してほしい」と笑顔で話してくれました。

# 青春

くろずあつが

佐藤瑚夏さんは、7月から津別町商工会で記帳専任職員として勤務しており、伝票処理や文書の受付、イベントの運営などを担当しています。美幌町出身で、中学ではバスケットボール部、高校ではバドミントン部に所属し、現在も津別町バドミントン協会の練習に参加するなど、体を動かすことが好きだそうです。高校卒業後、北見医師会看護専門学校に進学しましたが、自分の思い描いていた看護の仕事

との違いを感じ、中退を決めました。その後、津別町商工会の求人に応募し、現在の仕事に就きました。「おまつりなどのイベントで地域の方に頼られ、感謝されるのが励みになり、やりがいを感じます」と笑顔で話してくれました。就職を機に新生活を始めた佐藤さんは、地域の人々とのつながりを楽しみにしており、「イベントなどで声をかけてもらえたとうれしいです」と話していました。



### 地域とのつながりを大切にしたい

佐藤 瑚夏 さん

さとう こなつ さん/平成16年、美幌町生まれ/  
津別町商工会 勤務

## 創業100年「加賀谷木材株式会社」 生き残りの秘密に迫る！

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

生き残ったのには訳がある。100年以上続く企業の数が世界で一番多い日本。その中で今年創業100年を迎えたのが、町内で木材加工を行っている加賀谷木材株式会社（創業1924年〈大正13年〉）。ジャーナリストの池上彰さんも来町し、100年を祝って特別記念講演を開催しました。原料となる丸太から、建築資材に経木、DIY製材、そして夏休みの自由研究の定番、木工工作キットなどの製品も作っています。なぜ加賀谷木材は、激動の100年を乗り越えることができたのか？そこには困難が起こるたびに挑戦し続けた、さまざまな生き残り戦略がありました。木と向き合い、新たな挑戦を続けた津別町の100年企業をご紹介します。



毎月末日  
ごろ更新

《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおい、北見信用金庫津別支店、網走信用金庫津別支店に設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎77-8374